

電気通信大学 平成21年度シラバス

授業科目名	Academic Written English II		
英文授業科目名	Academic Written English II		
開講年度	2009年度	開講年次	1年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	演習	単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化基礎科目 I		
開講学科・専攻	情報工学科 電子工学科 システム工学科		
担当教官名	田中 智子		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
eigokyoumu@bunka.uec.ac.jp	特になし。

【主題および達成目標】
前期に引き続き、雑誌・新聞・インターネット上での今日的な話題を取り上げ、アカデミックリーディングに必要な読解力と語彙力を更に伸ばすことを目標とします。また、前期で学んだ論理的なパラグラフを書くために必要な基本事項を踏まえ、様々なライティング演習を通して、アカデミックライティングスキルのより一層の向上を目指します。

【前もって履修しておくべき科目】
なし。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
Academic Written English I

【教科書等】
TBA

電気通信大学 平成21年度シラバス

【授業内容とその進め方】

第1週 クラス分けガイダンス

第2週～最終週 各課ごとに概ね以下の項目に沿って進めます。

- Reading Section -

- ・前期に引き続き、様々なテーマに沿ったストーリーの速読と主要な語彙の確認
- ・主要な見解 (main idea) と詳細情報 (details) をテキストの練習問題等を通じて把握
- ・ペアワークやグループでのディスカッション

- Writing Section -

- ・前期で学習したパラグラフの基本構造の確認
- ・様々な書き方演習 - 人物・物事を描写して書く/ 経験したことを書く/ 比較・対照文を書く/ 意見を書く。
- ・エッセイの基本的な書き方を学習する。

- その他 -

インターネット等から抜粋した参考文献の講読及びディスカッションなど。

【授業時間外の学習 (予習・復習等)】

- ・テキストの指定されたユニットの予習・復習
- ・ライティング課題

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

評価方法：以下の点を総合的に評価します。

小テスト/期末復習クイズ 40%、課題 (授業中に指示) 40%、出席/授業への積極的参加 (授業中の課題等) 20% 計100%

評価基準：以下の到達レベル/条件をもって合格の最低基準とします。

- ・様々なテーマのストーリー (400~500語程度) をある程度のスピードで読み、かつ大意を的確に理解できる。
- ・平易な英語を使い、論理的な構成で自分の伝えたい事を書くことができる。
- ・英文講読を通して学習した語彙や文章表現をかなり自由に活用できる。
- ・決められた課題が全て受理されている。
- ・学期中3分の2以上の出席を満たす。

【オフィスアワー：授業相談】

質問等は授業時間の前後、または上記教務課共通mail で受け付けます。

電気通信大学 平成21年度シラバス

【学生へのメッセージ】

英語は自分で努力して学習した分、確実に身につきます。従って、予習・復習は大切です。また、前期同様、クラスでは皆さんの積極的な参加が不可欠です。五感を総動員し授業時間を十分活用して楽しく英語を学んで下さい。

【その他】

特になし。